

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

産学共同(育成型) 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR20UR
採 択 年 度	: 2020 年度
分 野	: アグリ・バイオ
研究開発課題名	: 新規免疫技術を基盤として従来では抗体の誘導が困難であった抗原に対するユニークな抗体作製技術の開発
プロジェクトリーダー 研究責任者	: 安藤 英紀(徳島大学)

評価結果の総合所見

本課題は、研究代表者らが開発したリポソーム技術を利用し、従来の免疫法では誘導が困難であった膜タンパク等を抗原として認識する抗体の誘導を目指すものである。

目標を達成し、企業との共同研究も進んでおり、次の研究開発フェーズ移行に必要な成果が得られた。

エクソソームを用いて脾臓免疫で抗体誘導可能であることを見出せたことは評価できる。目標として設定していたレベルの研究成果を得るとともに、その初期の活用先として想定される企業との共同研究も始まっており、着実に企業化に向けて進んでおり評価できる。

以上